

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	志村さかした保育園
日時	令和6年12月2・9・16・23日

1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児…体操教室 大縄跳び・ホッケー

<テーマの設定理由>

- ・友達と協力してチームで勝とうとする気持ちを持つ。
- ・ほうきを使ってブロックのパックに当てる感覚をつかむ。
- ・体を動かしゲームを楽しむ。

2. 活動スケジュール

- ・ゲームの前に準備運動をして体を温める。
- ・3人でチームになって対戦をする。勝ち残り負けたら交代。
- ・相手の陣地に多くパックを入れた方の勝ち。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・大縄・ほうきにガムテープを巻いたもの。
- ・円形のブロック。
- ・ビニールテープでセンターラインを引く。
- ・ゴールにウレタンの長いす。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・準備運動でホールをぐるぐる走る。
- ・2人一組になって柔軟体操とブリッジをする。
- ・大縄跳びの「入って跳んで出る」を繰り返しやる。タイミングが難しい子には、声掛けして入りやすく、出やすくする。
- ・ホッケーで1対1で対戦する。相手ゴールにパックを当てたら勝ち。勝ち残り負けたら交代。
- ・2対2でチーム戦をする。負けたチームは交代。
- ・待っている間は応援をする。
- ・最後に講師がオニになってどろけいを楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり>



- ・保育士の「1・2・3」の掛け声でタイミングをつかむ。
- ・前が出た後にすぐ入るタイミングが難しそうだった。
- ・自分で縄を見てタイミングを計っている。



- ・ゴール前では、パックを動かしたりフェイントを入れたり、ただ打つだけではなくて、攻める側と守る側の駆け引きが展開されます。



- ・2人一組になると、チームメイトに指示を出したり、役割分担をしたりする姿も見られますが、ほとんどは自分がパックをもってゴールを狙いに行きます。
- ・見ている子も応援したり観戦に熱が入っています。

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

- ・初めは上手くほうきをパックに当てることが出来なかったが、繰り返しやるうちに感覚をつかみ当たるようになった。当たるようになると喜びの笑顔が見られ、ゲームに対して意欲が高まった様子が見られた。
- ・負けた時は悔しさを表しながらも次のゲームは頑張るという気持ちに切り替えが出来ている。
- ・対戦する相手チームをよく見ていて、どうしたら勝てるかチームで話し合い役割分担をしたり作戦を立てたり、指示を出したりする様子が見られた。
- ・体を動かすことスポーツをすることの心地よさを様々な形で伝えていきたい。